

授業概要

ファイナンス論は一般的には証券や証券市場を分析する学問であるとされるが、広く解釈すれば日本で最も一般的な銀行借入れ等も含めた資金調達（ファイナンス）も含まれる。本講義では銀行借入れも含めたいろいろな金融商品についての知識を習得し、金融・証券市場の現状と制度、金融市場を分析するためのツールである統計・定量分析の基礎、証券投資と信用格付けの基礎的理論と実際、ポートフォリオ・債券・株式などの基礎的理論を学ぶ。さらに具体的な企業のファイナンス、国・地方のファイナンス（国債発行等）、銀行・証券界社・保険会社・政府機関・大学・病院等のファイナンスについても概説する。

授業計画

第1回	授業全体についてのオリエンテーション：ファイナンス論とはどんな学問か？ 授業の進め方、など。
第2回	主な金融商品（1）＜銀行借入れ/株式/債券/投資信託＞
第3回	主な金融商品（2）＜デリバティブズ/証券化商品＞
第4回	金融・証券市場の現状と制度（1）＜間接金融と直接金融、日米欧および途上国の市場＞
第5回	金融・証券市場の現状と制度（2）＜株式市場、債券市場、銀行と証券会社＞
第6回	統計・計量分析の基礎＜リスクとリターン、回帰分析＞
第7回	証券投資の基礎理論（1）＜証券投資とマクロ経済、長期投資と短期投資＞
第8回	証券投資の基礎理論（2）＜投資信託、ファイナンス理論＞
第9回	信用格付けの基礎理論（1）＜信用格付けの役割、リスクとリターンによる金利構成＞
第10回	信用格付けの基礎理論（2）＜社債の格付け、国債の格付け、その他の格付け＞
第11回	ポートフォリオの基礎的理論（1）＜マーケットモデル＞
第12回	ポートフォリオの基礎的理論（2）＜資本資産評価モデル＞
第13回	債券の基礎的理論＜債券の理論価格、債券の投資収益率、債券投資分析＞
第14回	株式の基礎的理論＜株式の理論価格、株式の投資収益率、その他＞
第15回	全体の復習と質疑応答
第16回	定期試験

到達目標

実際の金融・証券市場の概要を理解し、基礎的なファイナンスの理論を習得する。証券アナリスト、ファイナンシャルプランナー・証券外務員などの資格試験などに出题される問題に対処できる準備となる知識を習得する。

履修上の注意

本授業のための専用ノートを用意して講義内容を記録し、講義内容と関連する新聞/雑誌記事などを切りぬいて貼り付けておくことを勧めます。なおファイルケースを用意して授業時の配付資料などを時系列に綴じてください。

予習復習

経済新聞や経済雑誌（授業時に紹介します）に毎日目を通して必要なものは切り抜いてください。

評価方法

定期試験60%、授業内ライティング等40%

テキスト

『ファイナンス入門』創世社（2,100円＋税）をテキストとして使用する。